

★出逢いが育む未来の★主役★

カレンとの生活はどうでしたか？

カレンは、私が以前のホームステイしたときのホストファミリーでした。ただ、今回の受け入れで、彼が日本語を全くと言っていい程話せないことに、かなり驚きました。「日本語の勉強のため」だとは知っていても、家では英語で話さなければならぬ場面が多く、通訳しながら家族で会話をすることが本当に大変でした。カレンが体調を少し崩し気味だったことも気になりましたが、私の家での日常や、他にも彼の目に映った日本の姿から、今後の彼の生活に活かしてくれると感じ取ってあげたいから、私は本当にうれしいです！



留学生を受け入れて
1-3 特進コース
岡田 康汰
(大麻生中)

ホームステイを終えて
A.B. パターソン校
Callen Kelly
(カレン・ケリー)



日本での生活はどうでしたか？

私は、「日本人は勤勉で、内輪的な部分がある」と思っています。です。で、今回、日本の人たちがこんなに友好的で、明るく受け入れてくれたことに少し驚きました。日本とオーストラリアの生活の違いは？起床・就寝の時間帯の差です。オーストラリアの子どものほとんどは、夜九時にはもう寝ている時間ですが、日本の子どもは、大人もそうですが、大抵夜中の十二時ぐらいまで起きていました。今回のステイでは、私が少し体調を崩していたこともあり、周りに気を遣わせてしまったかもしれません。でも、そんな日本人の人が大好きです！

語学研修を終えて
2-3 特進コース
山田 育実 (皆野中)



オーストラリアの生活で印象に残っているものは？

出発前は不安なことも多くありましたが、お世話になったホストファミリーの皆様はとても親切で、大変安心しました。初めの頃は英語に耳が慣れていけず、聞き取れない単語や言葉が多くあったり、知らない単語も多かったりしたので、ホストファミリーが日々たくさんの会話を私としてくれたことで次第に会話の内容の理解度や語彙力が上がっていった気がします。

今後の生活への意気込みを聞かせて下さい。

この語学研修でお世話になった、日本、オーストラリア両国での先生方と家族への感謝を忘れず、また、更なる英語力向上のために勉強に励みたいと思います。

た。オーストラリアの高校で本物の英語の授業を受けられたことも大変貴重な経験でした。また、お別れの日に「私たちは、あなたのオーストラリアでの家族だよ」と言ってくれたホストマザーの言葉も、嬉しかったです。今後の生活への意気込みを聞かせて下さい。

平成26年度 合格実績
【国公立大合計 97】

3	4	2	1	1	3	2	2	6	1	7	3
東京	京都	大阪	北海道	東北	北陸	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学
科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科

【私立大合計 1074】

58	19	19	51	40	13	30	20	71	64	45	9
早稲田	慶応	上野	東洋	明大	青山	立教	中央	法政	日大	東大	私大
学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学
科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科

東高校の窓
合格者を生み出す
東高校の授業について、先生たちに聞いてみた。

教科書は学習の基礎であり、大学入試でもこれをマスターすることが必要である。だから授業においても教科書の内容を大切にしているが、「分かった」と「できる」は異なるため、必要な反復をどのようにするべきかのポイントを伝えている。(数学)

サマースクール

夏休みを利用して、軽井沢の研修寮で一年生のサマースクールが行われた。「二日間のサマースクールは、自分にとって意味のある日々になり、参加してとてもよかったです。授業では自分が置かれている立場に気づき、自分の志望する大学に合格するためにこの先今までの以上に勉強をしなければならぬと感じました。わからない問題をきちんと解くことができるよう、これから予習・復習をしっかりと、積極的に先生に質問したいです。そして、模試や定期テストで上位に入りたいです。サマースクールに参加することで、自分が必要とする苦しみや苦労がわかってよかったです。」

島田 友紀 (上柴中)

夏季特別講座

夏季休業中、一・二・三年生対象の大手予備校講師による夏季特別講座が開催された。「私はスタンダード英語と基礎数学を受講しました。英語の授業では、講義中に出てきた単語や熟語に関連させて、実際にアメリカで体験した出来事を話していただき、とても興味深い授業でした。私は数学がとても苦手で、講義を理解できるかとても不安でしたが、難しい問題も噛み砕いて説明してくださったので、意欲的に臨むことができました。夏季特別講座を受講したことにより、英語への関心がよりいっそう高まり、数学に対する苦手意識が減りました。来年も受講したいです。」

原口 歩実 (大幡中)

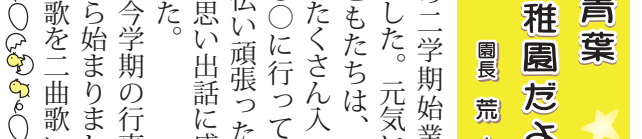
本庄青葉 幼稚園だより
園長 荒木 君代

本園の二学期始業式は八月二十五日でした。元気に登園してくる子どもたちは、「幼稚園のプールにたくさん入ったよ」「みんなでお手伝い頑張ったよ」など、夏休みの思い出話に盛り上がっていました。さて、今学期の行事はきりぐるま祭から始まりました。学年ごとに、歌を二曲歌いました。

センターレベルは高二までに仕上げ、三年次は国公立の文を多読し、英作文演習を中心に行う。様々な長文に触れる中では、日本文の読解能力や多くの予備知識も求められるが、総合的な力を養成できるように指導している。(英語)

歴史は「単純な暗記科目」ではない。膨大な情報を体系づけて覚えるためには、やはり理解して覚える必要があるのだ。そのため、授業では理解を深めるための情報を過不足なく説明し、知識定着のために発問を多くするようにしている。(社会)

ふたば組は初めてということもあり、リハーサルではハプニングが続出したが、本番はとも上手でかわいらしかったですね。わかば組は、手話も取り入れ立派です。あおば組の発表は、会場のお客様が涙ぐむくらい感動的なものでした。一つの行事を終え、自信となり大きく成長したようです。



夏季特別講座

夏季休業中、一・二・三年生対象の大手予備校講師による夏季特別講座が開催された。「私はスタンダード英語と基礎数学を受講しました。英語の授業では、講義中に出てきた単語や熟語に関連させて、実際にアメリカで体験した出来事を話していただき、とても興味深い授業でした。私は数学がとても苦手で、講義を理解できるかとても不安でしたが、難しい問題も噛み砕いて説明してくださったので、意欲的に臨むことができました。夏季特別講座を受講したことにより、英語への関心がよりいっそう高まり、数学に対する苦手意識が減りました。来年も受講したいです。」

原口 歩実 (大幡中)

